



左上から、阿部倅盛、佐藤晃陽、小笠原誠士、松谷俊汰、野場侑恭、青海朝陽  
左下から、吉田幸毅、長出将英、梅田舷生、青海新大、松浦優真

## 心を1つに全力プレー

猿払村アタッカーズは、9月22日から札幌市で開催される「2020 FIGHTERS BASEBALL CAMPIONSHIP U-12」、10月3日から旭川市で開催される「高円宮賜杯第40回記念全日本学童軟式野球大会マクドナルドトーナメント北海道大会」に出場します。管内予選はともに、見事優勝。宗谷の代表として全道大会に出場します。

全道大会では、チームの心を1つにし、優勝することを目標にしています。練習では、1つ1つのプレーを大事に、常に仲間と声を掛け合うなど、本番でも同じことができるように意識しながら練習を行っている様子でした。

今年のチームの特徴を聞いてみると、「負けていても諦めない」、「点を取られても強気」「流れに乗ると勢いがつく」、「ガッツがある」など、元気に教えてくれました。

しかし、毎年好成績を収めているアタッカーズですが、今年6年生が卒団

してしまうと団員が4人となり、来年以降大会に出場することが出来なくなります。取材した下級生の子たちは、「みんな優しく教えてくれるから、楽しく野球ができる。たくさんの人に入っでほしい」と話し、一緒に野球をする仲間を望んでいました。

ぜひ、野球に興味のある子は、一度見学や体験をしてほしいです。



主将 梅田 舷生くん  
日々支えてくれる、監督や両親に感謝の気持ちを忘れない。

全道大会ではしっかり声を出し、自分たちの流れをつくり優勝したい。6年生が抜けた後は、人数が少なくなるけど、野球を続けてほしい。